

令和4年度おとしより相談センター活動実績(地区ネットワーク会議)

※地区ネットワーク会議とは

各地域ケア個別会議及び個別支援、その他業務等を通じて把握した地域課題を参加者で共有し、ネットワークを構築する会議体。また、区レベルで対応が望まれる地域課題において、解決の方向性を検討する。

(1)実施内容

ブロック	日常生活圏域	包括名	テーマ
板橋	板橋	板橋	・医療との連携に問題があり、金銭感覚が欠如している身よりのない独居男性に対して地域としてどう対処できるか。 ・病院から支援依頼があるも、支援に結び付かないケースへの介入を地域として考える。
	熊野	熊野	高齢者の孤独・孤立(独居世帯に限らない)
	仲宿	仲宿	なし(感染症の影響により、参加者の都合がつかず、未開催であった。)
	仲町	仲町	災害時における地域のつながりについて ～机上訓練を通して実際にどのように連携していく必要があるかを考える～
	富士見	富士見	高齢者のデジタル・ディバイド問題について
上板橋	大谷口	大谷口	知って広めよう！社会資源 ～今ある社会資源の共有と、持続可能な居場所づくりを目指して～
	常盤台	常盤台	交流の多い認知症の人を地域で支えるには
	中台	中台	板橋区の負担を増やさないネットワーク(医療・介護)の必要性を考える
	前野	前野	認知症の本人の立場に立ち、一緒に必要なサポートを考える
	桜川	桜川	・認知症・精神症状のある人への理解と見守りを地域で進めていくには ・包括支援センターに心理の専門職が配置されると良い
赤塚	下赤塚	下赤塚	介護保険サービスではできない支援について考える
	成増 三園	成増 三園	コロナ禍でも！～介護予防大作戦～
	徳丸	徳丸	高齢福祉サービス事業の概要と活用方法について
志村	清水	清水	【第1回】 志村地区で行われている支え合い会議について ～各圏域での活動内容や連携について情報交換～
	志村坂上	志村坂上	【第2回】 医療と介護の連携 ～介護予防・フレイル予防 それぞれの視点から～
	蓮根	蓮根	
高島平	舟渡	舟渡	地域の見守り事例について
	高島平 三園	高島平 三園	認知症の方と支援者を支える仕組みチームオレンジの活動を知ろう
計			実施回数 全 16 回、参加者数 322 人

(2)委員構成

医師会、歯科医師会、薬剤師会、町会連合会、民生・児童委員協議会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、介護事業者、MSW、NPO・ボランティア、第2層協議体 SC、板橋区 等